

お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
器具の改造や指定部品以外の交換はしない。(火災・感電・落下の原因)
器具やランプを布や紙などで覆わない。(可燃物をかぶせて使うと火災の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。(火災・感電の原因)
ランプに塗料などを塗らない。(ランプが過熱・破損してけがの原因)

インバータ器具の取扱い
赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。(雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります)
受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。

ランプ交換・器具の清掃
警告 電源スイッチを切ってから行う(感電の原因)
ランプ交換 (1)ランプの取付は右図①の手順で交換する。ランプの取外しは②の逆の手順で行う。
清掃
警告 器具・ランプを水洗いしない(火災・感電の原因)

定期点検
6ヶ月～1年に1回、機能(非常点灯持続時間と切替動作)の点検を行う。[建築基準法施行規則第6条]
定期検査ごとに非常灯状態にし、30分以上点灯することを確認する。

照明器具の寿命について
照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について
保証期間は商品お買上げ日より1年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は3年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置
警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。(火災・感電の原因)
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

三菱電機株式会社 〒247-0056 神奈川県鎌倉市大船2-14-40
三菱電機照明株式会社 ☎(0467)41-2729 (営業統轄部)
☎(0467)41-2773 (品質保証部サービス課)

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

E767Z840H22

三菱非常用照明器具[電源別置形](高調波ガイドライン適合品)

Easyeco Super II 下面開放直付形 グリーン購入法適合 保管用

形名 YXR4062F PH (公共施設:K0-I40+FSS6-322 使用ランプ:FHF32)

取扱説明書

- この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。またアフターサービスもできません。
電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

- 施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みの方え、正しく施工してください。
取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、警告、注意の表示で区分して説明しています。表示の意味は表中で説明しています。
図記号の意味は次のとおりです。
絶対に行わないでください。
必ず指示に従って行ってください。

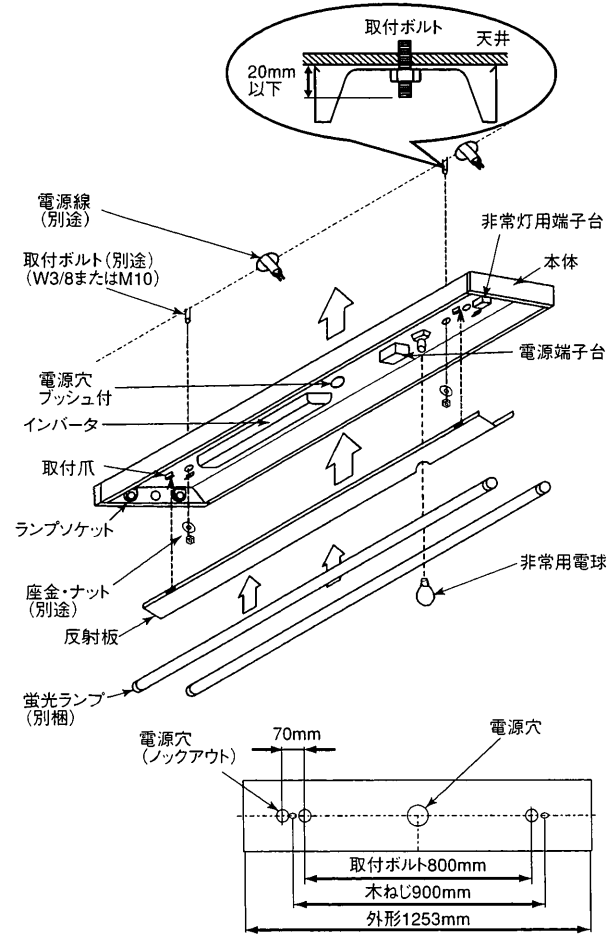
警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
引火する危険のある雰囲気を使わない。(ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない)(火災の原因)
器具取付けの際は電線を挟まない。(絶縁不良により感電・火災の原因)

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの
高温(35℃以上)、粉じん、強い振動・衝撃のある場所では使わない。(落下・感電・火災の原因)
油煙のある場所では使用しない。(油でソケットが破損しランプ落下の原因)
さびの出やすい場所、腐食性ガスが出る場所では使わない。(劣化による落下の原因)
器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けられない。(絶縁不良やさびにより感電・落下の原因)
風呂場など水や湿気が多い場所では使わない。(火災・感電の原因)
雨水のかかる場所で使わない。(水気・湿気が入り感電の原因)
器具を密集して取付けない。(10cm以上離す)(器具の温度が高くなり火災の原因)
表示された電源電圧以外では使わない。(火災・感電の原因)
器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。(絶縁不良により感電・火災の原因)
狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。(器具が過熱して火災の原因)
調光専用器具以外は調光させない。(器具が過熱して火災の原因)

お願い

- 周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。点灯始動保証温度は-5℃以上です。周囲温度5℃未満での連続使用は、ランプ光束の低下やランプの短寿命となります。
インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。
非常用専用ランプは平常時連続点灯しないでください。
商品監視システム(防犯センサー)の一部の機器はインバータの周波数と干渉して誤動作する場合がありますので、事前に商品監視システムのメーカーにご確認ください。

各部のなまえと取付けかた **警告** 器具の取付けは取扱説明書に従い行う (不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因)



### 1 取付前の確認

○器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

**警告**  
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける (落下の原因)

### 2 器具本体を取付ける

- (1) 使用する電源穴に付属のコードプッシュをはめ込む。
- (2) 電源線・アース線を器具本体のプッシュ付電源穴から引き込んでおく。
- (3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

**警告**  
取付けが不完全な場合落下の原因

### 3 電源線を電源端子台に接続する

(1) 電源線を電源端子台の差し込み穴に確実に差し込む。

**警告**  
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

(2) アース線を差し込み穴に確実に差し込む。

**警告**  
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う (アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因)

<D種 (第3種) 接地工事がが必要です。>

- 電源端子台の容量は20Aです
- 適合電線：φ1.6mm単線 φ2.0mm単線

**警告**  
送り配線は照明器具専用とし、容量を確認して接続する (容量を超えると電源端子台が過熱・損傷し火災の原因)

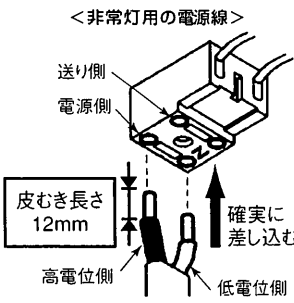
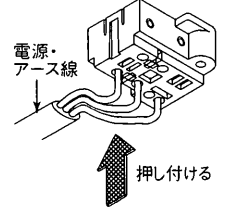
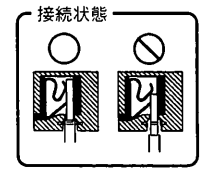
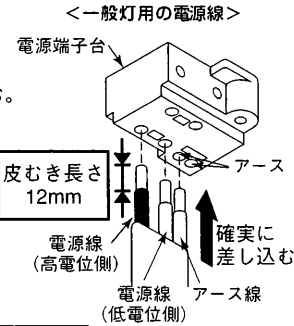
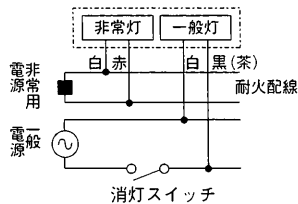
**警告**  
電源の接続は適合太さの電源線を指定長さで被覆をむき、1本ずつ連結端子の奥まで差し込む (差し込み不十分は接触不良により火災・感電の原因)

(3) 電源線 (アース線) の挿入部は反射板との当たりを防ぐため電源端子台に押し付けるように小さく曲げる。

○電源線接続の連結端子の電源線を取り外すときは、幅6mmのマイナスドライバーを、はずし穴にまっすぐに差し込んでください。

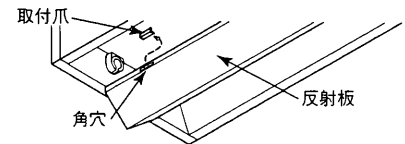
(4) 非常灯用の電源線を非常灯端子台に確実に接続する。

○非常用電源と非常灯器具間の配線は、耐火配線とする。

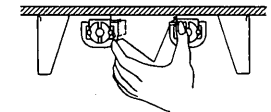


○非常灯用回路の電源電圧はAC又はDC100V専用です。

### 4 反射板を取付ける



○反射板の角穴を本体の取付爪に片側2ヶ所を引っ掛け、反射板をつまみながら、もう一方の角穴を取付爪にはめこむ。



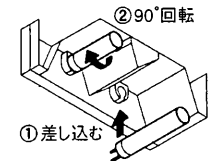
**警告**  
反射板取付けの際は電線をはさまない (絶縁不良により感電・火災の原因)

○反射板取付後、下に引下げ、確実に取付いていることを確認する。

**注意**  
取付けが不完全な場合落下の原因

### 5 ランプを確実に取付ける

○ランプピンをソケットに差し込み、90°回転させ、ランプを確実に装着する。



**注意**  
取付けが不完全な場合落下の原因